

# 地域医療連携室だより

～ 第 17 号 ～

大阪市立十三市民病院

## 病院長 挨拶

このたび、第 16 代目の病院長に就任しました、西口幸雄です。

私は昨年より当院で副院長として勤務していましたが、ご存じない方もいらっしゃるかと思いますので、少し自己紹介をします。

昭和 57 年大阪市立大学医学部を卒業し、大阪市立大学医学部第一外科に入局し、研修医・研究医を経て、堺市にある馬場記念病院で外科の研鑽を積みました。その後はアメリカ合衆国オハイオ医科大学に留学後、大阪市立大学附属病院、大阪市立総合医療センターで勤務ののち、昨年より当院で勤務してました。専門は大腸手術で特に腹腔鏡手術です。もう一つは、PEG（胃ろう）などの栄養療法です。

患者サービスとしましては、本年 2 月からは、阪急三国駅方面に加え、JR 加島駅方面、JR 塚本駅方面、阪急十三駅方面の 4 方向へバスを増便いたしました。

まだまだ利用者は少ないようですが、このバスにより、バスルート近辺の地域の先生方に患者さんを紹介していただきやすくなったと考えています。

十三市民病院は今年で 70 周年を迎え、普通の病気をていねいに治療する、地域に信頼される急性期病院として、医療機能や患者サービスの充実に向けて取り組んでいく所存ですので、職員一同の仕事ぶりをしっかりご覧いただければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。



病院長 西口 幸雄

## 地域医療連携室 室長 挨拶

若葉の緑がすがすがしく感じられ、さわやかな風が肌に心地よく感じられる季節となりました。皆様におかれましても益々ご盛栄のこととお喜び申し上げます。

今月号では新しく赴任された医師 15 名と看護部長の紹介をさせていただきます。新しいスタッフを迎えて、さらに地域医療推進に向け一丸となって頑張っていきたいと考えております。

今年度 4 月 1 日より皮膚科の常勤医師が赴任となり、外来診療枠（月～金午前中）と共に入院病床（6 床）も準備致しました。地域医療機関からの診察依頼に迅速かつ柔軟に対応して参ります。

今年度も引き続き地域包括ケアを視野に入れた地域との連携を強化し、年 3 回の地域連絡会や地域連携パス連絡会を行ない、情報交換や学習会を開催し顔の見える関係を深めて参ります。また退院が決定となりましたら患者さま・家族さまが安心して在宅での療養ができますよう専門の看護師とともに退院前・退院後訪問も行なっております。地域医療連携室スタッフ一同、皆様方のご意見やご要望を伺いながら益々努力していく所存ですので何卒よろしく願い申し上げます。



地域医療連携室長 小砂見恵子

# 新任医師紹介

## <外科>

本年4月より大阪市立十三市民病院外科部長として赴任しました井上透と申します。平成3年に大阪市立大学を卒業し、2年間の研修を経て平成9年に医学博士を取得、米国カリフォルニア大学サンディエゴ校への留学を終えた後、大阪市立大学附属病院腫瘍外科学教室にて教員として8年間、大阪市立総合医療センター消化器外科副部長として9年間勤務いたしました。専門は最近罹患率増加の著しい大腸癌を中心とした大腸肛門疾患の外科治療や薬物療法です。手術としては、患者さまの体に優しい手術として腹腔鏡手術に積極的に取り組んでまいりましたので、約800例の腹腔鏡下大腸癌手術を施行してまいりました。



外科 井上 透

また、直腸癌に対する肛門（機能）温存手術、炎症性腸疾患に対する手術や痔疾患も専門としています。

その他、胃癌や肝胆膵領域の外科疾患、乳腺疾患に対しても、一般外科医として手術を含めた診断や治療を行ってまいりました。地域医療における十三市民病院の重要な役割の一つとして、急性腹症に対する緊急手術があげられます。地域医療の最前線で頑張っておられる診療所やクリニック、病院の先生方からの緊急診療要請にしっかりと応えられるよう、救急医療を充実させていきたいと考えております。

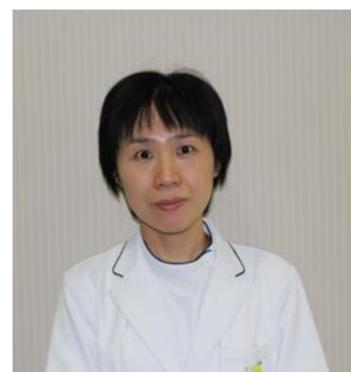
この地域の医療の先輩である先生方と連携をとって、ご一緒にこの地域の医療をさらに発展させていく所存でございますので、何卒よろしくお願いいたします。

## <病理診断科>

本年4月より大阪市立十三市民病院病理診断科副部長として赴任いたしました福島裕子と申します。

平成11年に大阪市立大学医学部を卒業後、同臨床検査医学教室（血液内科）に入局し、内科医として4年勤務後、病理医を志し、平成19年より本年3月まで大阪市立総合医療センター病理診断科に勤務しておりました。

病理医は患者様とは直接お目にかかることはありませんが、病理診断は治療方針に影響を及ぼす重要な診療行為です。患者様のためにも主治医の先生のためにも、患者様をご紹介下さった地域の先生方のためにも、迅速で正確な病理診断を下すべく、日々、顕微鏡にむかっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



病理診断科 福島 裕子

## <小児科>

平成31年4月より小児科副部長として赴任いたしました川又攻(かわまた おさむ)と申します。福島県立医科大学を卒業し、平成8年から大阪市立大学医学部附属病院小児科で初期研修後、市大関連病院で研修させて頂き、兵庫県立尼崎病院、大阪市立住吉市民病院、西宮市立中央病院で勤務してきました。主に新生児一般・小児科全般を診てまいりましたが、サブスペシャリティとして小児循環器疾患を担当させて頂いておりましたので、先天性心疾患や川崎病を多く診てまいりました。



小児科 川又 攻

十三市民病院は、現在赤ちゃんにやさしい病院の認定を受けていますが、日本一赤ちゃんにやさしい病院を目指し、愛着形成の為の母子支援、CTに頼らない超音波診断、アレルギー予防らのテーマに積極的に取り組む所存です。今後いっそう地域の先生方との連携を深めていく事が何より大切だと考えておりますので、何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しくよろしくお願い申し上げます。

## <整形外科>

平成 31 年 4 月より大阪市立十三市民病院の整形外科医長として赴任致しました  
林和憲(はやし かずのり)と申します。平成 19 年に大阪市立大学を卒業後、大阪厚  
生年金病院にて初期研修を行い、その後、聖隷浜松病院、大阪市立総合医療センター、  
大阪市立大学整形外科に勤務し、脊椎外科を中心とした治療経験・手術経験を積んで  
まいりました。その後、インドにあるガンガ病院に 3 ヶ月、フランスのボルドー大学  
病院脊椎外科に 1 年間、臨床留学させて頂き、昨年度末に帰国した次第です。整形外  
科は施設が違えば、同じ疾患例に対しても手術方法が異なりますが、私の強みは医局  
を超えて国内外多くの病院で臨床に携わり、各種の難症例に対する対処法・手術法を  
学んできたことにあります。この経験を活かし、低侵襲脊椎手術を座右の銘として  
実践しつつ、その限界も理解し、必要な症例に対しては矯正固定術を行う医師であり  
たいと考えております。地域の先生方と連携して脊椎外科診療を行って参ります。逆紹介させて頂く際は、何卒よ  
ろしくお願い致します。



整形外科 林 和憲

## <皮膚科>

平成 31 年 4 月より大阪市立十三市民病院の皮膚科医長として赴任致しました松村泰宏  
と申します。平成 21 年に金沢医科大学を卒業後、2 年間の初期研修を経て平成 23 年に  
大阪市立大学皮膚科に入局しました。大阪市立大学医学部附属病院、大阪回生病院、大  
阪市立総合医療センター、浅香山病院、香芝生喜病院などで勤務しそれぞれの病院の特  
色を生かしながら、地域に求められる医療を提供すべく研鑽を積んで参りました。  
一般皮膚科診療のみならず、薬疹や皮膚感染症、円形脱毛症、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、尋  
常性乾癬、水疱症など幅広く皮膚科領域の疾患について診療を行う所存です。



皮膚科 松村 泰宏

この 4 月よりエキシマライトを用いたナローバンド UVB 照射機器や CO2 レーザーを  
導入しておりますので適応のある患者さんがおられましたらお気軽にご紹介いただけますと幸いです。

患者さんに寄り添う医療を心掛け、地域に根差した皮膚科として皆様のご期待に副えるよう努めて参りますので  
何卒宜しくお願い申し上げます。

## <呼吸器内科>

平成 31 年 4 月より呼吸器内科の医員として赴任いたしました引石惇仁と申します。  
平成 26 年に大阪医科大学を卒業し、初期研修の後、前任は淀川キリスト教病院へ勤務し  
ておりました。そこでは肺炎や肺腫瘍などの診療が主であり、肺結核の症例を十三市民  
病院へお願いすることがほとんどでした。今度は自分が肺結核や抗酸菌症を診療する立  
場になり、精一杯頑張らしていただく思います。



呼吸器内科 引石 惇仁

まだまだ未熟で至らない点多々あるかと存じますが、地域の先生方と連携して呼吸  
器内科の一般診療に励んでいければと思います。今後ともご指導・ご鞭撻の程何卒宜し  
くお願い致します。

## <消化器内科>

平成 31 年 4 月から十三市民病院消化器内科に赴任しました寺田良太と申します。  
平成 23 年に宮崎大学を卒業し、同年より大阪市立大学医学部附属病院で 2 年間初期研修をしました。平成 25 年に大阪市立大学消化器内科に入局し、1 年間大学病院で専門性の高い症例を学びました。その後 5 年間で馬場記念病院で勤務し、消化器内科疾患に加え、幅広く内科疾患の診療を行ってまいりました。

地域の先生方と連携させて頂き、消化器内科全般、消化器内視鏡治療を行い、地域医療に貢献できるよう精進致しますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



消化器内科 寺田 良太

2019 年 4 月より大阪市立十三市民病院消化器内科医員として赴任しました、金森厚志と申します。

2012 年に大阪市立大学医学部を卒業後、若草第一病院で初期臨床研修を行いました。2014 年より大阪府済生会中津病院消化器内科で 4 年間勤務し、消化管・肝胆膵・肝臓の診療を学びました。2018 年より大阪市立大学医学部消化器内科に入局し、1 年間大学病院で消化管機能疾患や早期消化器癌の内視鏡診断・治療を中心に診療を行ってまいりました。

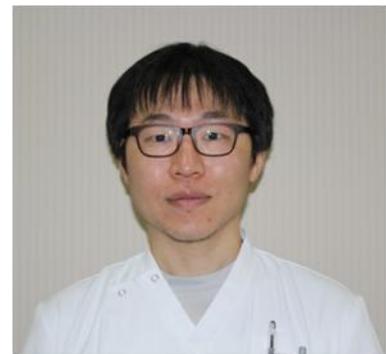
まだまだ未熟で至らない事も多々あるかと存じますが、地域の先生方と連携を深め、地域の皆様に良質な医療を提供していけるように精進いたします。何卒よろしく願いいたします。



消化器内科 金森 厚志

平成 31 年 4 月より十三市民病院消化器内科に赴任しました金大裕と申します。  
平成 26 年に関西医科大学卒業後、大阪市立大学医学部附属病院で初期研修を 2 年間行い、大阪市立大学医学部消化器内科に入局しました。大学病院で 1 年間ですが専門性の高い症例を経験させていただきました。その後なにお生野病院で、消化器内科疾患の他に一般的な内科疾患の症例を経験させていただきました。

未熟な点、至らない点も多々あるかと存じますが、地域の患者様の健康に少しでも貢献できるよう今後も更に精進致します。何卒よろしく願い申し上げます。



消化器内科 金 大裕

## <産婦人科>

平成 31 年 4 月より大阪市立十三市民病院に赴任いたしました医師 8 年目の沖絵梨と申します。

平成 24 年に大阪市立大学医学部を卒業後、大学病院で 2 年間研修し、その後大阪市立大学医学部附属病院・岸和田市民病院・大阪市立住吉市民病院にて勤務をしてまいりました。

産科に関しましては、正常妊娠・分娩から妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病等の合併症妊娠の管理まで、また婦人科に関しましては、良性疾患の低侵襲手術から悪性疾患の診断・治療まで様々な症例を経験してまいりました。

まだまだ未熟な点も多々あるかと存じますが、今まで学んできたことを活かしながら、地域医療に貢献できるよう日々精進していきますので、何卒よろしく願い申し上げます。



産婦人科 沖 絵梨

## <呼吸器内科>

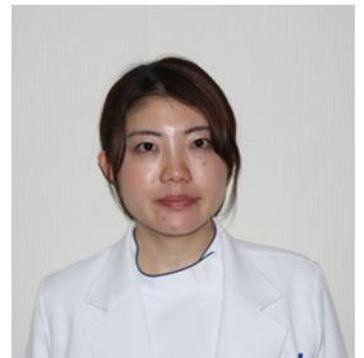
平成 31 年 4 月より呼吸器内科レジデントとして赴任いたしました河本健吾と申します。平成 27 年に大阪市立大学医学部を卒業後、若草第一病院、大阪市立大学医学部附属病院で初期研修を行いました。大阪市立大学医学部呼吸器内科学教室に入局した後、関西電力病院で呼吸器内科として 2 年間勤務いたしました。今年より十三市民病院に赴任となり、地域の先生方と連携させていただきながら、お役に立てるよう一生懸命取り組んでいきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。



呼吸器内科 河本 健吾

## <外科>

平成 31 年 4 月より十三市民病院外科レジデントとして赴任致しました登千穂子です。平成 25 年に香川大学医学部を卒業し、初期研修の 2 年間を大阪市立大学医学部で過ごしました。その後大阪市立大学医学部腫瘍外科に入局し 1 年間大学病院で勤務、その次の 2 年間は和泉府中の府中病院で勤務し、その後 1 年間大阪市立総合医療センターで勤務しておりました。まだまだ未熟者で至らぬ点多々あるかと思っております、日々精進していきますので何卒よろしくお願い致します。



外科 登 千穂子

2019 年 4 月より大阪市立十三市民病院外科のレジデントとして赴任しました西山毅と申します。2016 年に大阪市立大学を卒業後、松原徳洲会病院で 2 年間初期研修を行いました。2 年間の勤務で多くの救急症例に携わり、救急診療の難しさ、奥深さを実感しました。その後、2018 年より大阪市立大学外科専門研修プログラムでの修練を開始し、幅広い分野の外科疾患を経験し、また大学病院ならではの専門性の高い症例を経験することができました。

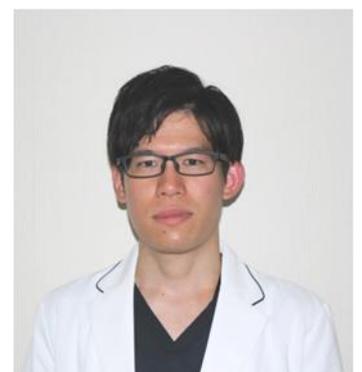


外科 西山 毅

これまでの医師 3 年間を通して、医療はチーム医療であると感じます。医療は 1 人だけでは勿論できず、他の医師やコメディカルと力を合わせなければなりません。病院も 1 つだけではなく、地域の様々な病院や施設、在宅医療や行政などと協力することで良質な医療を提供できると思っております。まだまだ未熟で至らない点もあるかと思っております、救急診療や手術に対しては真摯に取り組む所存であります。その中で、皆様のお力添えを頂くことも多々あると思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

## <眼科>

平成 31 年 4 月より大阪市立十三市民病院眼科の専攻医として赴任しました坂井淳と申します。平成 28 年に和歌山県立医科大学を卒業し、その後 2 年間の初期研修を同大学附属病院で行いました。平成 30 年 4 月に大阪市立大学大学院医学研究科視覚病態学に入局し、眼科の基本的な診察方法のほか、日常の白内障や緑内障・糖尿病性網膜症といった一般的な眼科疾患、および加齢黄斑変性症などの難治性疾患に関しても勉強してまいりました。また、手術に関しても白内障手術のみならず、網膜剥離や硝子体出血などの網膜硝子体手術も経験して参りました。眼科としてまだまだ未熟で、かつ至らない点多々あると存じますが、地域の患者様に良質な医療を提供し、QOL 向上のために尽力したいと考えております。先生方のご指導・ご鞭撻のほど賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



眼科 坂井 淳

## <総合診療科>

済生会中津病院内科専攻医の乙丸一平と申します。専門分野は血液内科ですが、十三市民病院では総合診療科として様々な内科疾患を診ていきたいと考えております。地域連携を深め、多くの地域住民の方と信頼関係を築き、より良い医療を提供できるように精進してまいりますのでお願いいたします。



総合診療科 乙丸 一平

## <看護部>

この度、十三市民病院の看護部長として就任しました森坂佳代子と申します。

小児保健センターに就職し、少年保養所、総合医療センター、看護専門学校と勤務し、4年前に看護部副部長として十三市民病院に参りました。

十三市民病院は、互いに顔の見えるアットホームな病院だと思っています。何をするときも、職種を超えて協力し合える関係性が十三市民病院の強みだとも思っています。この力を活かし、互いに協力し合い信頼される暖かな医療を提供し、患者・家族から選ばれる病院となるよう取り組んでまいります。

看護部のキャッチフレーズは「みんなに届け！笑顔、やさしさ、思いやり」です。患者・家族はもちろんですが、ともに働く仲間にも笑顔、やさしさ、思いやりを届けることができるよう努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



看護部長 森坂 佳代子

\*\*\*\*\*

～第7回トピックセミナー開催のご案内～

日時：6月13日（木）18時～19時10分  
場所：9階すかいルーム  
演題：「高齢者の愁訴に用いる漢方処方」  
～補剤を中心に～  
演者：えのもとクリニック  
副院長 福原 慎也 先生

※ 大阪府医師会生涯教育講座を単位申請しております